

System-V

外字登録

(2 1 . 3)

【取扱説明書】



株式会社タテムラ

目 次

はじめに	1
プリンター環境の確認方法	2
Windows 外字フォントの作成方法	
Windows 8.1 / 10	3
Windows外字ファイル搬出方法	9
System-Vへ外字ファイル搬入方法	10
外字コピー方法	13

はじめに

概要

外字登録とは、System-Vにあらかじめ登録されていない文字や記号(外字フォント)の登録および作成を行うことで、区点入力を使っていつでも使用できるようにするプログラムです。

外字フォントは、主に税マークに使用しています。 税マーク例 消 共 関 免

なお、NPPシリーズやOSPシリーズなどの専用プリンターをご使用されている方のみSystem-Vへ搬入作業が必要となります。作成方法の流れをご参照ください。

単体で使用されている方とネットワークで使用の方では登録手順が異なりますので、下記の操作の流れで必ず確認してください。

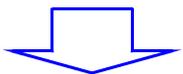
作成方法の流れ

単体のお客様はこちらの作業の流れです。

1. Windows外字エディタにて外字の作成・登録を行ないます。(P.3~8)



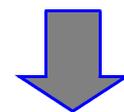
2. Windowsで作成・保存した外字ファイルを搬出します。(P.9)



3. System-Vへ外字ファイルを搬入します。(P.10~12)
NPPシリーズやOSPシリーズなどの専用プリンターをご使用されている方のみ設定が必要です。



Windows



System-V

ネットワークでお使いの方はこちらの作業の流れです。

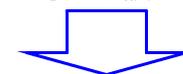
1. Windows外字エディタにて外字の作成・登録を行ないます。(P.3~8)



2. Windowsで作成・保存した外字ファイルを搬出します。(P.9)



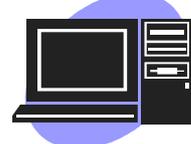
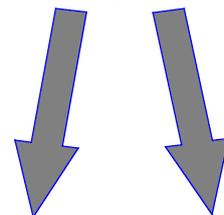
3. System-Vへ外字ファイルを搬入します。(P.10~12)
NPPシリーズやOSPシリーズなどの専用プリンターをご使用されている方のみ設定が必要です



4. 他の端末へUSBメモリから外字ファイルをコピーします。
(P.13~18)



Windows



System-Vサーバー 他のWindows端末

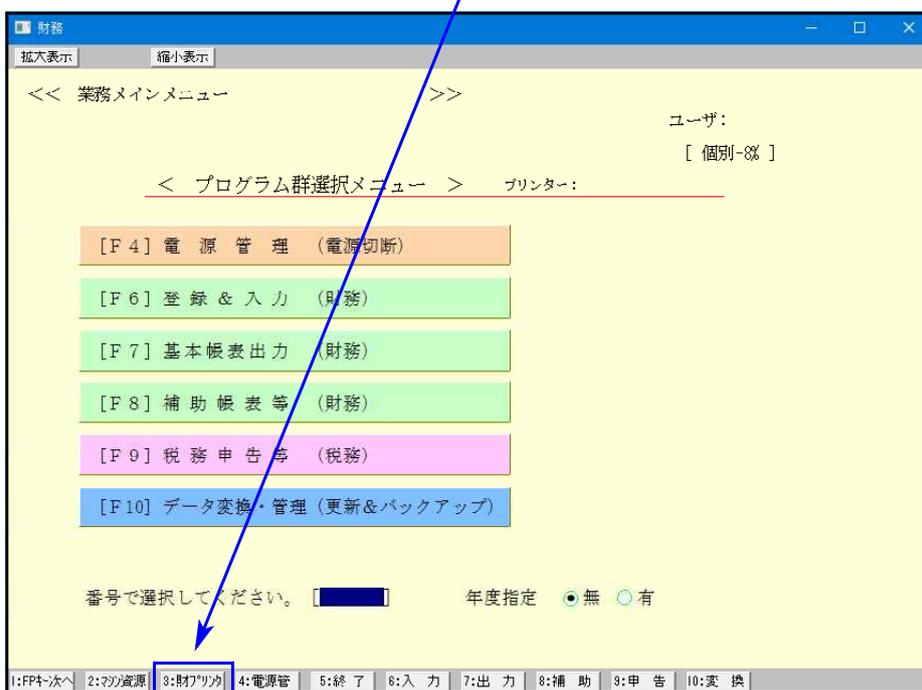
プリンター環境の確認方法

概要

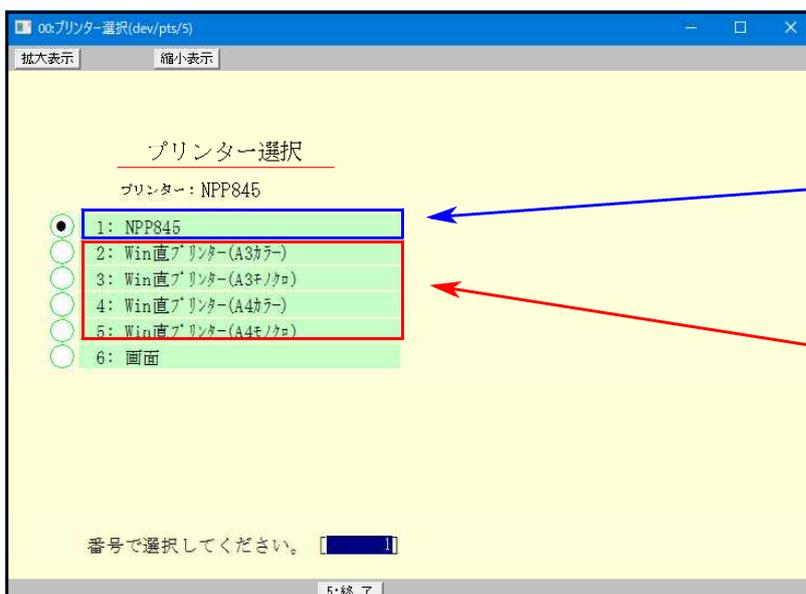
NPPシリーズ、OSPシリーズなどの専用プリンターで外字ファイルを印刷したい場合、Windowsで作成した外字ファイルをSystem-Vへ搬入する作業が必要になります。接続プリンターの画面をご参照いただき、ご確認ください。

確認方法

1. 業務メインメニューから **F3: 財プリンタ** を選択します。



2. 接続プリンターの確認をします。

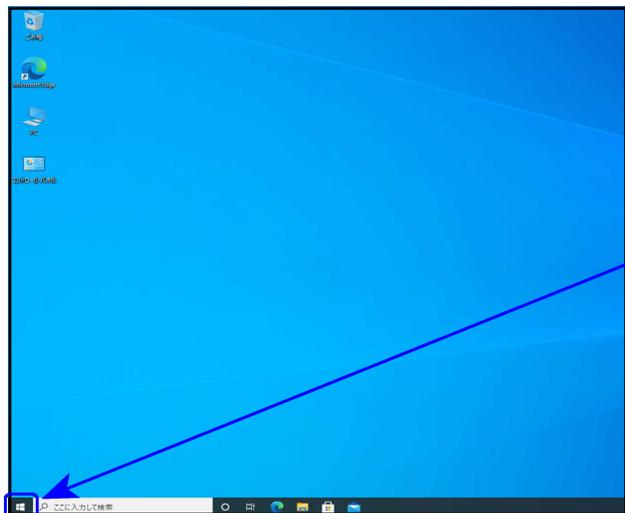


NPP845、OSP803等が表示されている場合はSystem-Vへ搬入作業が必要です。

Win直プリンターのみ表示されている場合、Windows外字エディタにて作成(他の端末があればコピー)すれば作業は完了となります。

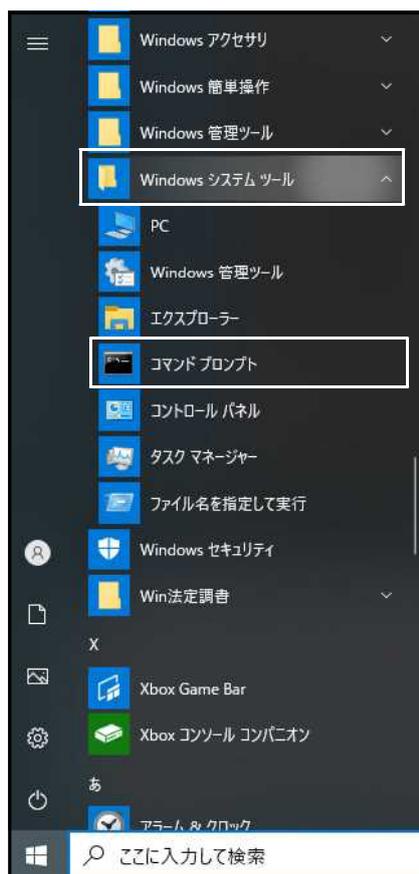
Windows外字フォントの作成方法 (Windows 8.1、10)

概要 Windowsでの外字フォントの作成方法です。



1. コマンドプロンプトを管理者として起動します。

Windows10の場合
画面左下のスタートボタンをクリックします。



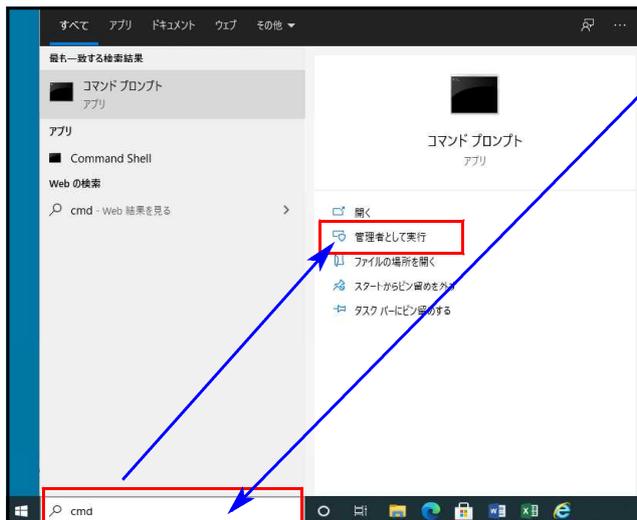
左図の「スタートメニュー」から「Windowsシステムツール」を選択します。

「コマンドプロンプト」で右クリックします。

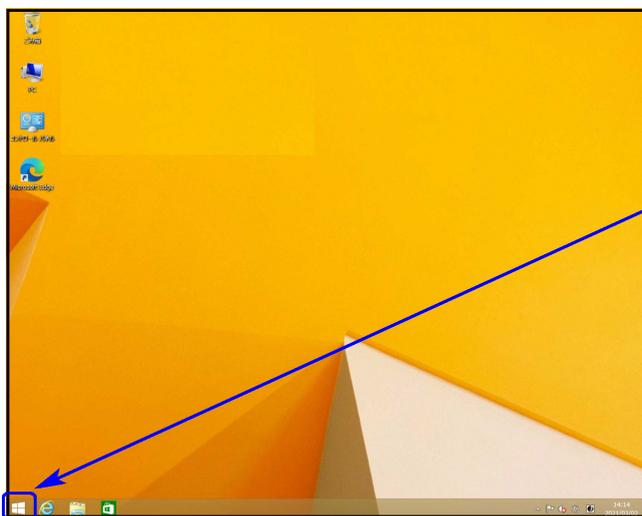


「その他」「管理者として実行」をクリックします。

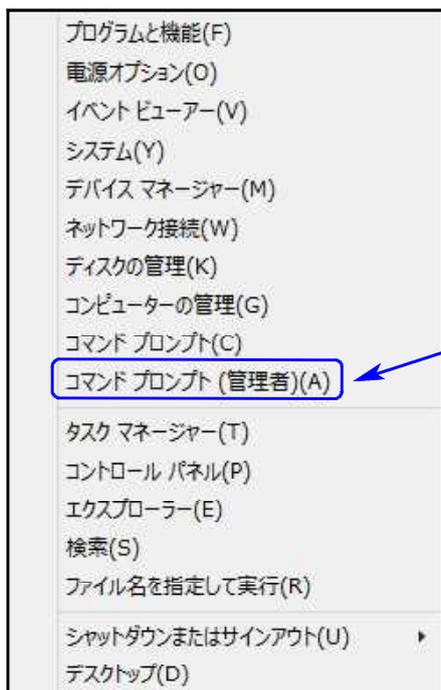
タスクバーから起動する方法



タスクバーの「🔍ここに入力して検索」
「cmd」と入力して、「コマンドプロンプト」を
表示したら「管理者として実行」をクリック
します。



Windows8.1の場合
画面左下のスタートボタンを右ク
リックします。(もしくはキーボ
ードの「Windowsキー」と「X」
キーを押します。)



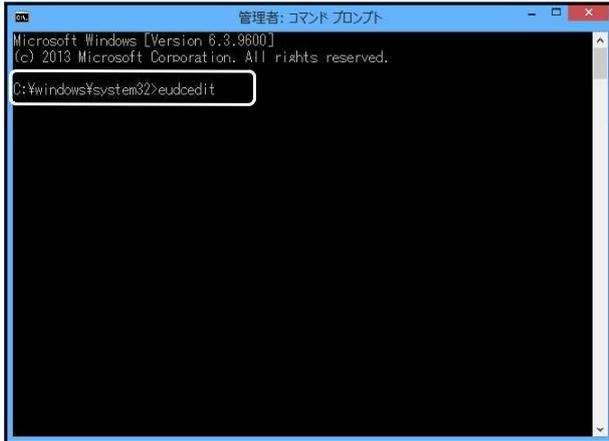
左図の画面を表示します。

「コマンドプロンプト(管理者)」
をクリックします。



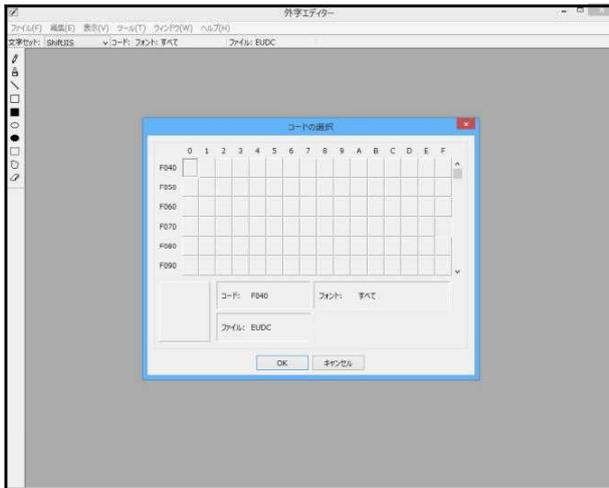
2. ユーザーアカウント制御の画面を表示します。

はい をクリックします。



3. コマンドプロンプトの画面を表示します。

「C:\windows\system32>」の後に eudcedit **Enter** と入力します。



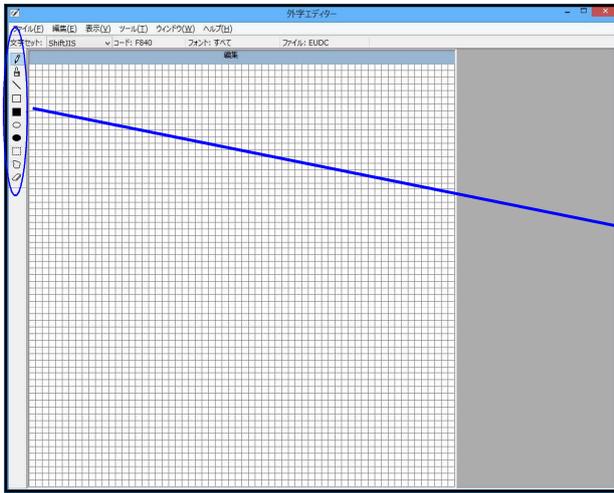
4. 左図の画面を表示します。



5. 画面右のスクロールバーを使い、画面をスクロールさせ登録したい番号の画面を表示させます。

タテムラのプログラムで使用できる外字はF7D0～F870です。

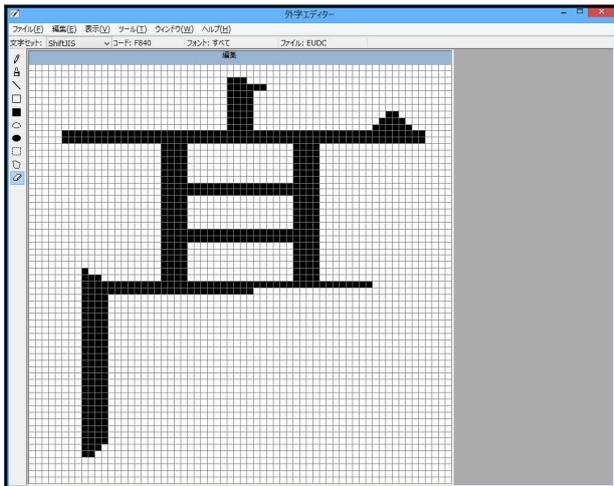
6. 登録する番号を選択します。空欄になっている番号を選択し、**OK** を押します。



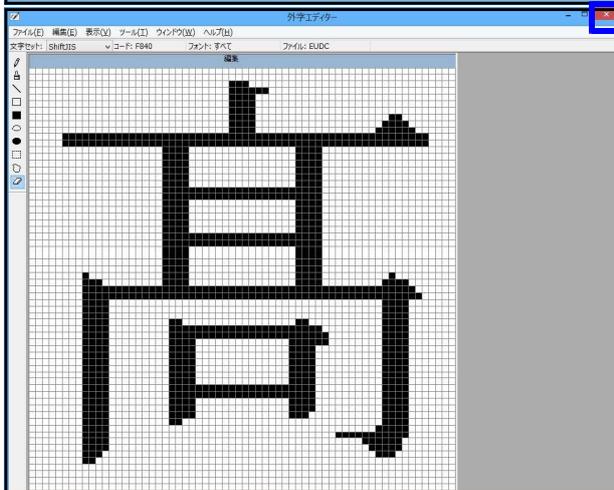
7. 碁盤のような画面が表示されます。
画面左のツールを使い、マウスで文字を作成します。

左クリック ... 塗りつぶし
右クリック ... 消去

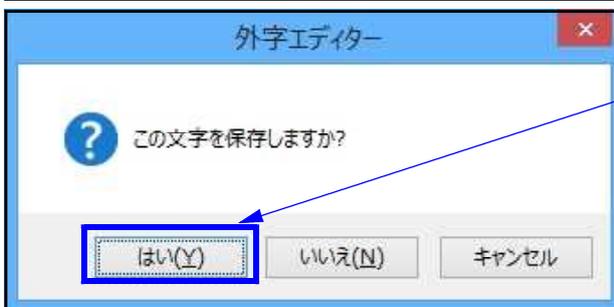
- 鉛筆
- ブラシ
- 直線
- 四角形
- 塗りつぶし四角形
- 楕円
- 塗りつぶし楕円
- 四角形選択
- 自由選択
- 消しゴム



8. 左図のように文字を作成します。



9. 完成しましたら右上の をクリックします。

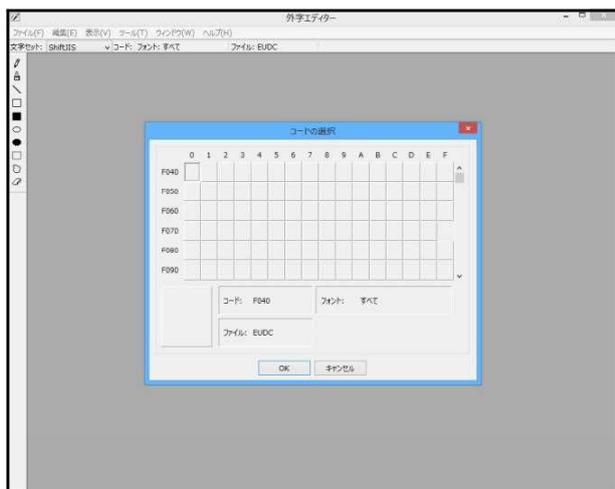


10. 左図の画面を表示します。
 をクリックし、作成した文字を保存します。

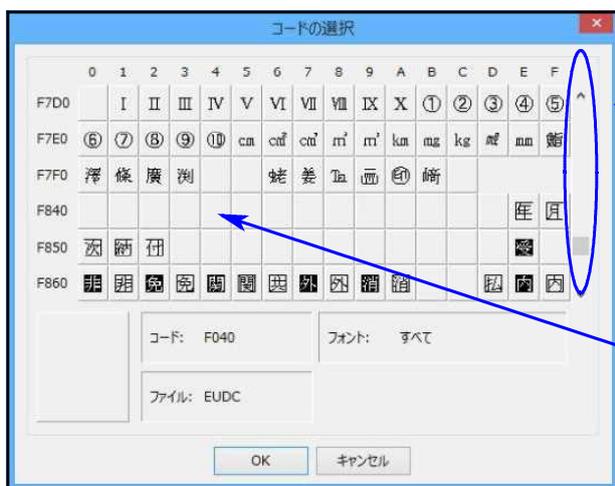


11. 画面右上の「x」をクリックし、コマンドプロンプトを終了します。

既にある文字を基にして外字を作成する方法



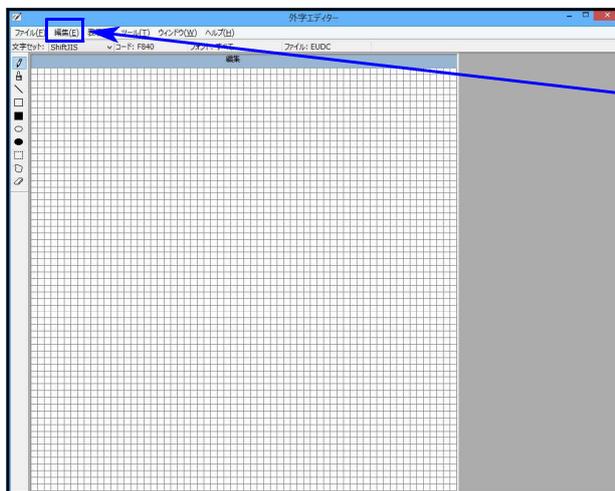
1. 外字エディタを起動します。
(P3～5参照)



2. 画面右のスクロールバーを使い、画面をスクロールさせ登録したい番号の画面を表示させます。

タテムラのプログラムで使用できる外字はF7D0～F870です。

3. 登録する番号を選択します。
空欄になっている番号を選択し、**OK** を押します。



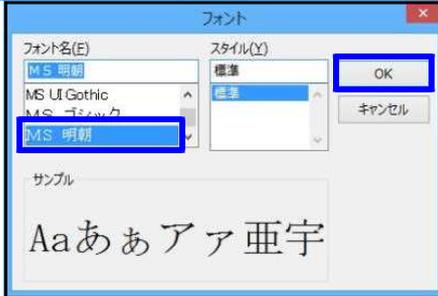
4. 碁盤のような画面が表示されます。

画面左上の **編集** から **文字のコピー** をクリックします。

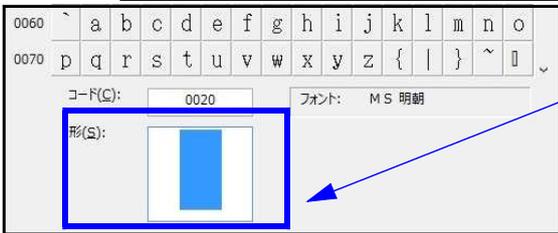




5. 左図の画面を表示します。
タテムラでは「MS明朝体」を使用していますので、**フォント名** をクリックします。



6. 左図の画面を表示しますので、**MS明朝** を選択し、**OK** をクリックします。



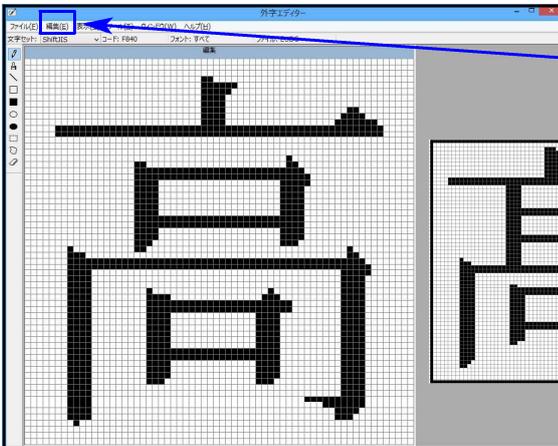
7. 形(S)という欄にコピーする文字を入力します。
例) 高



8. 検索結果が画面上部に表示されます。
コピーしたい字をクリックします。

9. **OK** をクリックすると画面に「高」の文字が表示されます。

10. 鉛筆や消しゴムで加工します。
例) 縦棒を加えて「高」を作成



11. **編集** から **同じコードで保存** をクリックします。



12. **ファイル** から外字エディターの終了をクリックします。

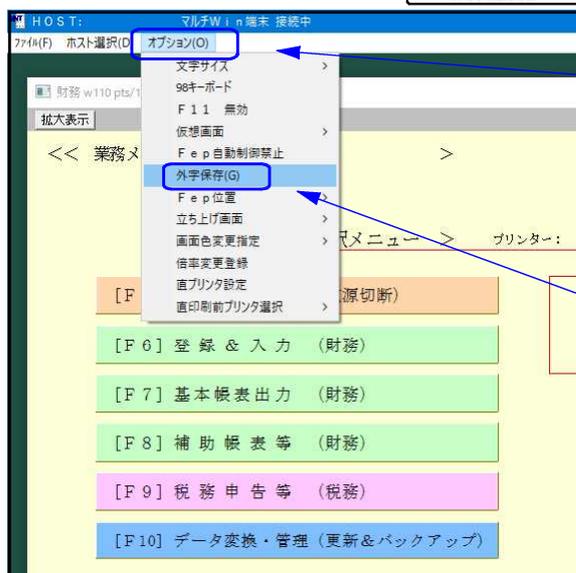
Windows外字ファイル搬出方法

概要

Windowsで作成した外字ファイルの搬出方法です。搬出したファイルをSystem-Vへ搬入しないとNPPシリーズ、OSPシリーズなどの専用プリンターで印刷した時に外字が印刷されません。

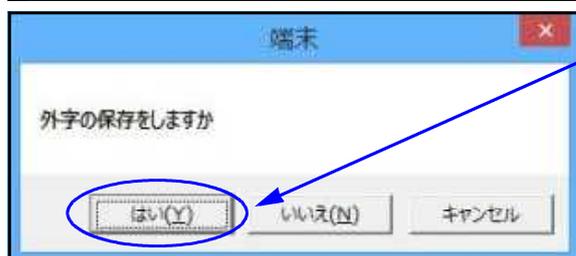


1. **マルチウィンドウ端末** のアイコンをダブルクリックします。



2. 画面右上の **オプション** をクリックします。

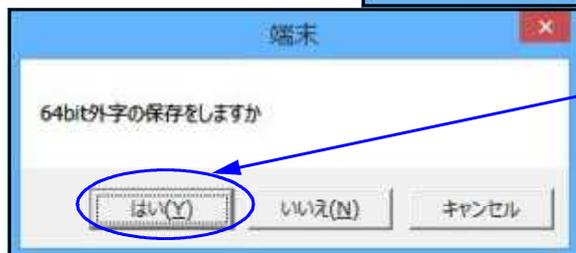
3. **外字保存** をクリックします。



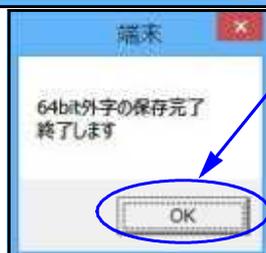
4. **はい** をクリックします。



5. **OK** をクリックします。



6. **はい** をクリックします。



7. **OK** をクリックします。

System-Vへ外字ファイル搬入方法 (Windows8.1 / Windows10)

概要

作成した外字ファイルをSystem-Vにコピーするための操作です。
Win真プリンターのみを使用している場合、こちらの設定は不要です。(P.2参照)

作業を行う前に単体・及びサーバのシステムを起動してください。

コマンドプロンプトの操作

```
c: \WINDOWS\system32>ftp x001
x001に接続しました
220 FTP Server ready
ユーザー(x001:(none)): z00
331 z00 のパスワードを入力してください
パスワード:
230 z00 がログインしました
ftp>
```

```
ftp> binary
200 転送タイプ にセットしました
ftp> lcd c:%tac
ローカル ディレクトリは現在 C:%TAC です。
ftp> cd /tac/sys
250 CWD コマンド 成功
ftp>
```

```
ftp> put gaiji.pat
200 PORTコマンド 成功
150 BINARYモードのデータ接続をオープンします gaiji.pat
226 転送が完了しました
ftp: 74933 バイトが送信されました 0.11秒 681.21KB/秒。
ftp> put gaiji2.pat
200 PORTコマンド 成功
150 BINARYモードのデータ接続をオープンします gaiji2.pat
226 転送が完了しました
ftp: 99269 バイトが送信されました 0.00秒 99269000.00KB/秒。
ftp> quit
221 さようなら。
c: \WINDOWS\system32> exit
```

1. コマンドプロンプトを管理者として起動します。

(P.3~5参照)

2. 以下を入力します。

```
サーバ ftp x001 [ENTER]
単体 ftp x01 [ENTER]
```

接続出来ない場合

```
サーバ ftp 172.16.1.100
単体 ftp 192.168.5.2
```

3. ユーザーとパスワードを入力します。

```
ユーザー(x001): z00 [ENTER]
パスワード: z00 [ENTER]
```

「230 z00 がログインしました」が表示されたらOKです。

4. ftp> の後に binary と入力し [ENTER]

5. lcd c:%tac と入力し [ENTER]

6. cd /tac/sys と入力し [ENTER]

7. put gaiji.pat と入力し [ENTER]

8. put gaiji2.pat と入力し [ENTER]

9. quit [ENTER]
exit [ENTER]

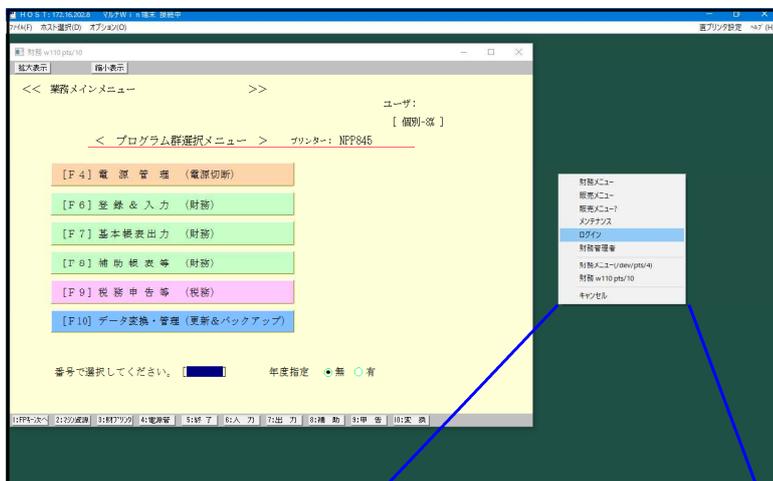
で画面を終了させます。

はスペースです。

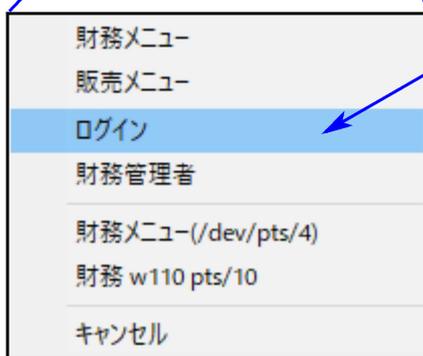
Windows側の操作は以上です。



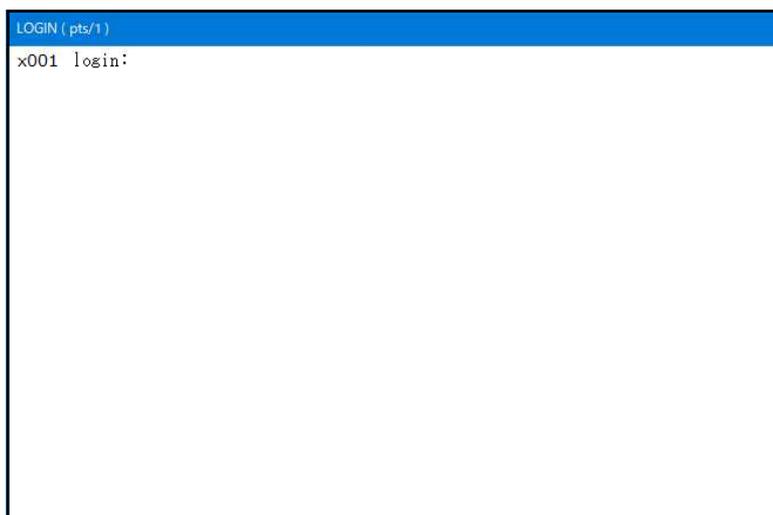
10. **マルチウィンドウ 端末** のアイコンをダブルクリックします。



11. 画面内緑色の表示部分で右クリックします。



ログイン をクリックします。



12. 左図の画面を表示します。

```
LOGIN ( pts/9 )
login: z00
Password:
Last login: Mon Sep 27 10:06:17 from seido
Welcome to Turbolinux.
[z00@sta01 z00]$ su
Password:
[root@sta01 z00]#
```

13. 以下を入力します。
login: z00
Password: z00
[z00@x001 z00]\$ su
Password: root
もしくはユーザーIDを
入力します。

ユーザーIDはマシン資源から確認
できます。

```
[root@x001 z00]# ms_file get a:gaiji.pat /tac/sys
OK
[root@x001 z00]# ms_file get a:gaiji2.pat /tac/sys
OK
[root@x001 z00]# chown z00 /tac/sys/gaiji*
[root@x001 z00]# chmod 644 /tac/sys/gaiji*
[root@x001 z00]#
```

14. chown z00 /tac/sys/gaiji*
と入力します。

15. chmod 644 /tac/sys/gaiji*
と入力します。

```
[root@x001 z00]# chmod 644 /tac/sys/gaiji*
-rw-r--r-- | z00      root    74933
-rw-r--r-- | z00      root    99269
```

16. ls -l /tac/sys/gaiji*
と入力します。
「-rw-r--r--」と表示が出ている
か確認してください。

```
[root@x001 z00]# ph_printer
1 : npp860      (lp0)      lp0
2 : Canon      (lp1)      lp1
[root@x001 z00]# gaiji_p -p=lp0
[root@x001 z00]# exit
exit
[z00@x001 z00]$ exit
exit
```

17. ph_printer と入力します。
接続されているプリンターが表示
されますので出力を行いたい
プリンターが、lp何番かを確認します。

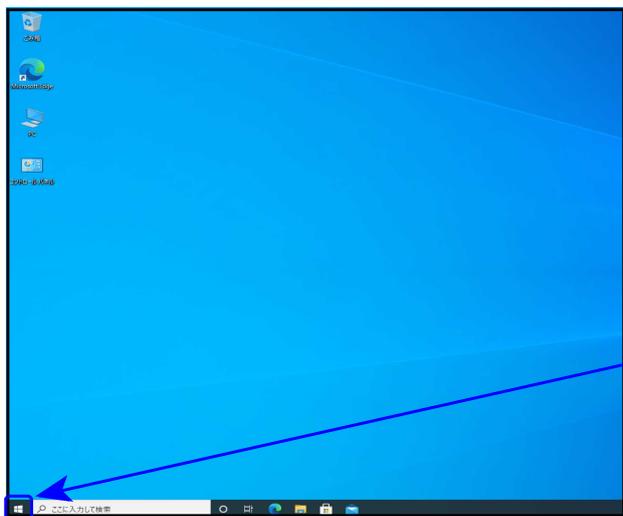
18. gaiji_p -p=lp⁰ リンター-の番号
と入力します。
外字一覧表が印刷されます。
登録した外字が印字されていれば
作業完了です。

19. exit
exit で終了します。

作成した外字のコピー方法

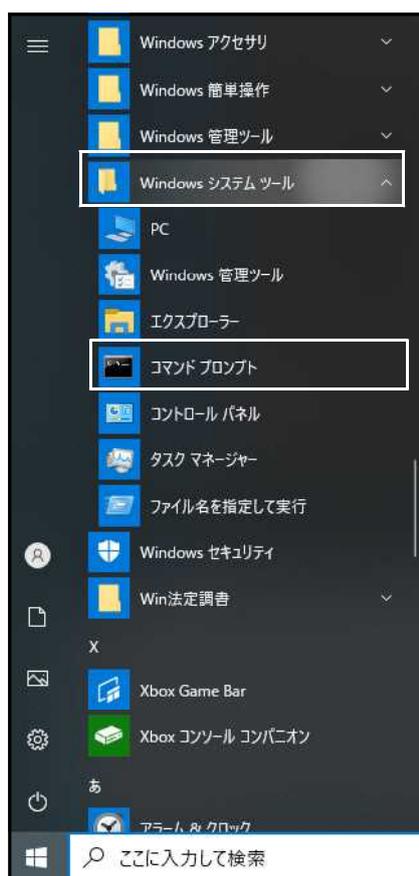
概要

Windows 8.1 / Windows 10で作成した外字を他のWindows端末へ搬入する方法です。



1. 外字を作成したWindowsにUSBメモリをセットします。
2. コマンドプロンプトを管理者として起動します。

Windows10の場合
画面左下のスタートボタンをクリックします。



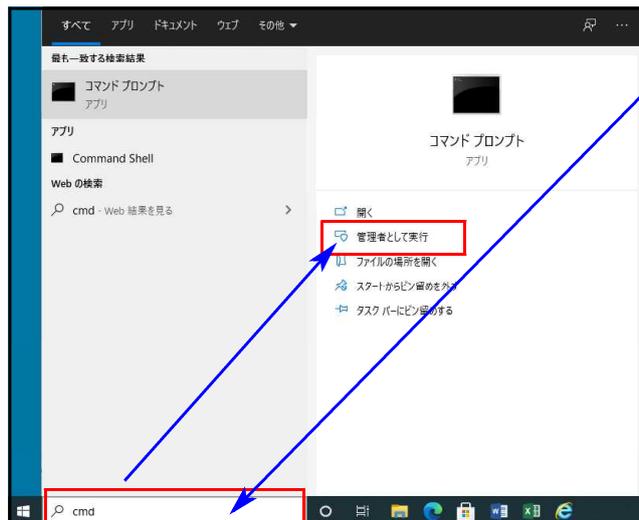
左図の「スタートメニュー」から「Windowsシステムツール」を選択します。

「コマンドプロンプト」で右クリックします。

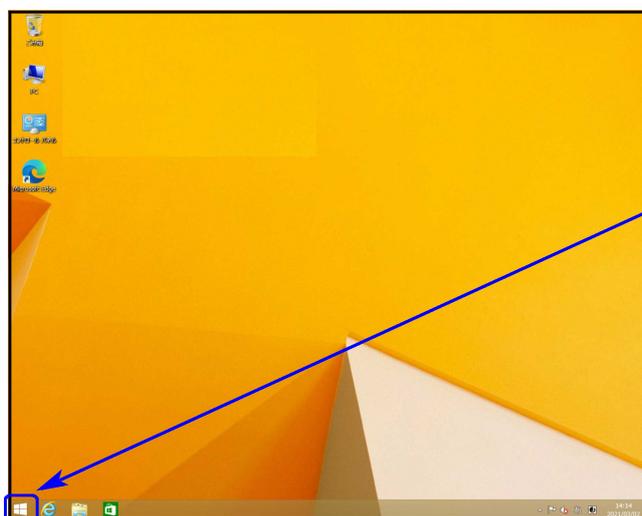


「その他」「管理者として実行」をクリックします。

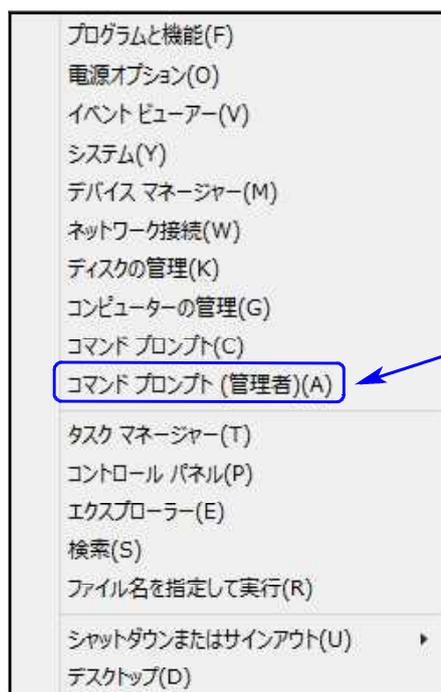
タスクバーから起動する方法



タスクバーの「🔍ここに入力して検索」
「cmd」と入力して、「コマンドプロンプト」を
表示したら「管理者として実行」をクリック
します。



Windows8.1の場合
画面左下のスタートボタンを右ク
リックします。(もしくはキーボ
ードの「Windowsキー」と「X」
キーを押します。)



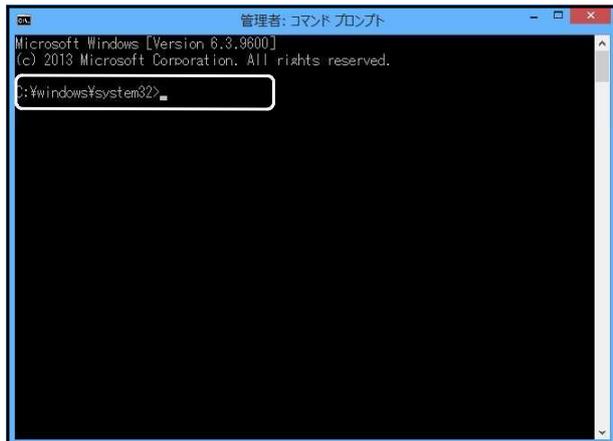
左図の画面を表示します。

「コマンドプロンプト(管理者)」
をクリックします。



3. ユーザーアカウント制御の画面を表示します。

はい をクリックします。



4. コマンドプロンプトの画面を表示します。

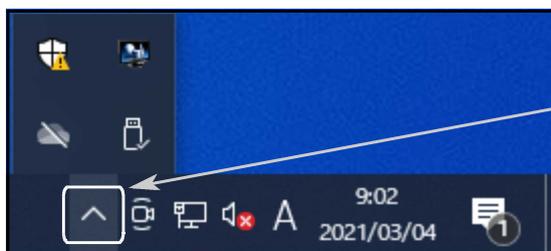
5. 「C:\windows\system32>」の後に copy c:\windows\fonts\eu*. * e:¥ と入力し **Enter** を押します。

※ ¥ はスペースです。

最後の「e」はUSBメモリのドライブ名です。ドライブ名がfやg等の場合は置き換えてください。



6. 「2個のファイルをコピーしました。」と表示したら、画面右上の「x」をクリックし、コマンドプロンプトを終了します。



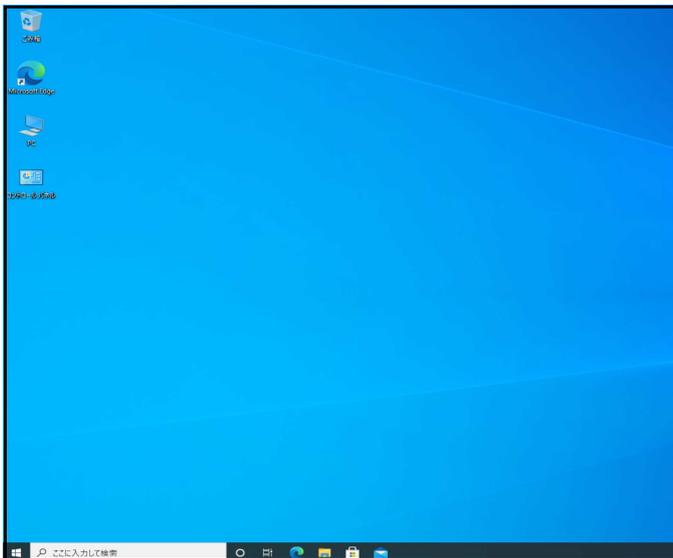
7. 画面右下の  隠れているインジケータをクリックします。

 の表示が出たら右クリックします。



8. **USB(品番名など)の取り出し** をクリックして、USBメモリーを抜きます。

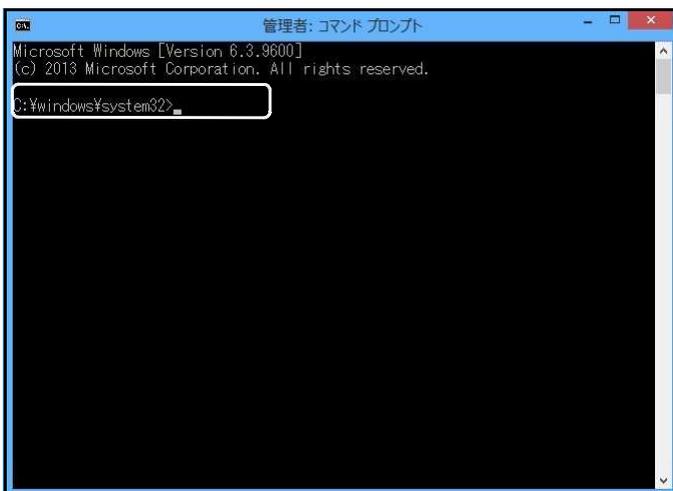
外字搬出の操作は完了です。



外字搬入の手順

9. USBメモリを外字を搬入するWindows端末にセットします。
10. コマンドプロンプトを管理者として起動します。

P.13～15の1～3の手順を実行します。



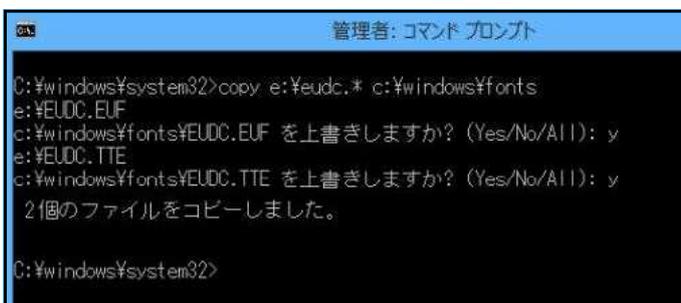
11. コマンドプロンプトの画面を表示します。



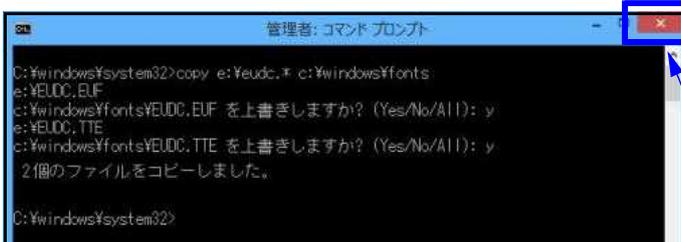
12. 「C:\windows\system32>」の後に
ren c:\windows\fonts\%eudc.tte
eudc.bak
と入力します。

13. copy e:\%eudc.* c:\windows\fonts
 と入力します。

copy eの「e」はUSBメモリのドライブ名です。
ドライブ名がfやg等の場合は置き換えて入力してください。



14. 「EUDC.EUFを上書きしますか? (Yes/No/All)」
y と入力します。



15. 「2個のファイルをコピーしました。」と表示したら、USBメモリを抜いてください。

16. 画面右上の「x」をクリックし、コマンドプロンプトを終了します。



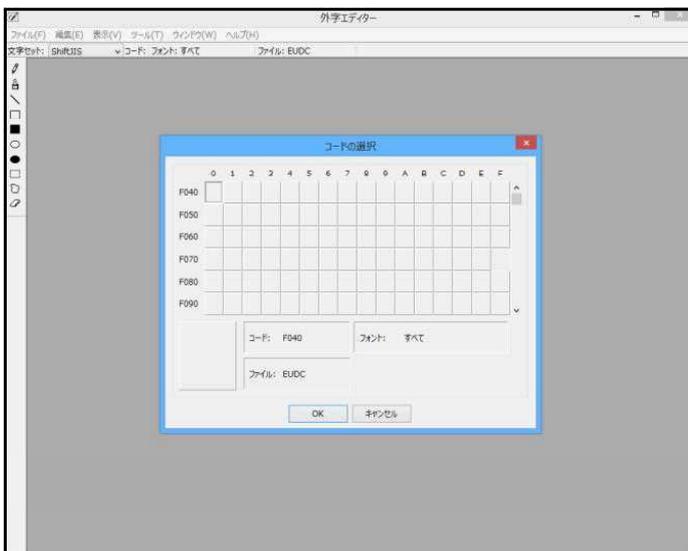
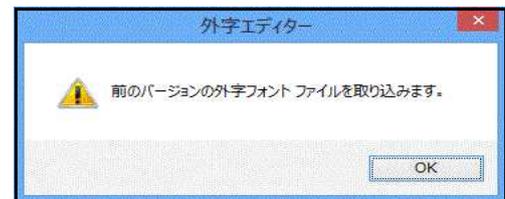
17. コンピュータを再起動します。

立ち上がりましたらP.13～15の1～3の手順で再度コマンドプロンプトを表示します。

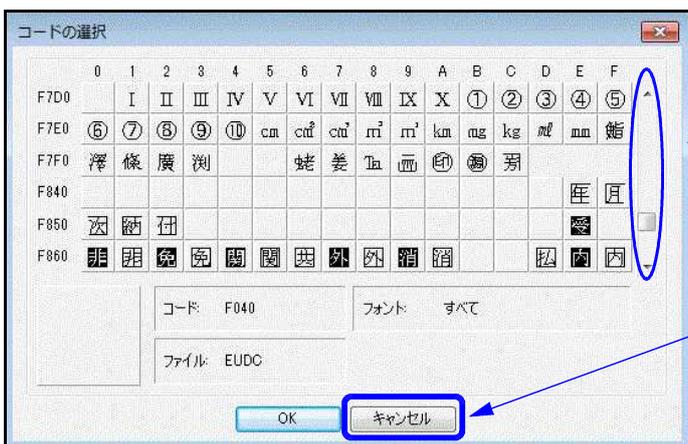


18. 「C:¥windows¥system32>」の後に eudcedit [Enter] と入力します。

以下の画面を表示した場合は [OK] をクリックします。通常は表示されません。

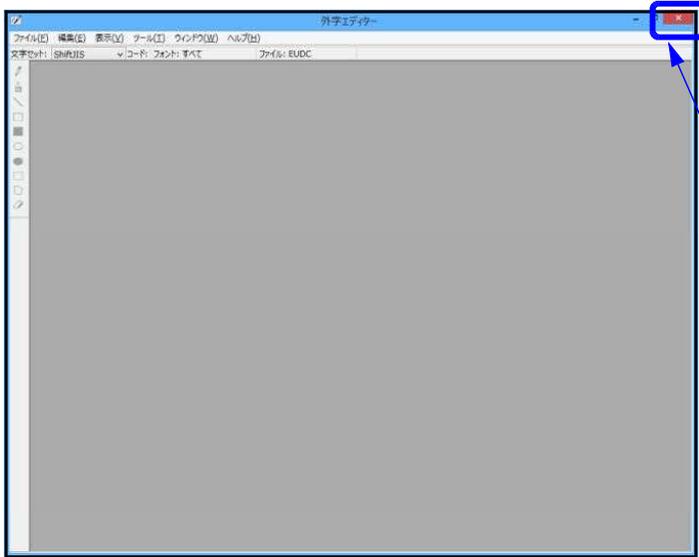


19. 左図の画面を表示します。



20. 画面右のスクロールバーを使い、画面をスクロールさせ、左図のように F7D0～F870に外字が表示されているか確認します。

21. キャンセルをクリックします。



22. 画面右上の「×」をクリックし、外字エディターを終了します。



23. 画面右上の「×」をクリックし、コマンドプロンプトを終了します。

以上で作業は終了です。